

進路だより★るもい

令和4年度8月第4号 北海道教育庁留萌教育局 キャリアプランニングスーパーバイザー(進路相談員) 齋藤 利佳

▶▶本番に向けて、面接練習を行いましょ！▶▶

1 面接試験の目的

面接は応募者にとって自分をアピールする大切な場です。しかし、採用側にも人材を採用するという目的があります。採用者・応募者のそれぞれの目的を理解しましょう。

	目的
応募者	応募した企業や仕事内容が自分に適しているか、自分の能力を考えたとき、この仕事を選んでよいか等を確認めます。
採用担当者	応募してきた人物が、資質があり、企業にとって期待できるか、また、意欲があり、志望動機がしっかりとしているか、組織（環境）に溶け込み、コミュニケーションがとれるか等を確認めます。

2 面接の種類

就職活動で行われる面接はいくつかあります。どの面接にも対応できるように練習しておきましょう。

個人面接	集団面接（グループ面接）	グループディスカッション
 <p>面接官は1～複数名、応募者は1名で行います。応募者の回答に、深掘りする等、じっくりと質問されます。</p>	 <p>面接官も応募者も複数名で行う場合があります。特長は応募者の回答を比較できますが、1人あたりの回答時間は短くなります。</p>	 <p>面接官は複数名、応募者でグループを作り、1つのテーマに沿って話し合います。ディスカッションの中の発言等が評価されます。</p>

3 面接の基本的な流れ

下の図は、基本的な面接の流れです。細かい動作や注意点については、各高校の進路のしおり等を参考にしてください。

★入室

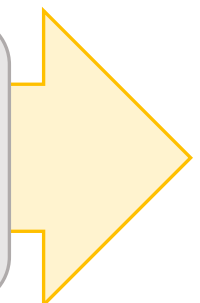
ドアをノックし、面接会場に入ります。面接官の前まで進み、学校名と名前を名乗ります。

★質疑応答

面接官に着席を促され、椅子に座ります。面接官が質問し、それに対して答えます。

★退室

面接官より面接終了と言われたら、椅子から立ち上がり、御礼の挨拶をして、退室します。



4 身だしなみ

面接時だけでなく、日頃から身だしなみに注意しましょう。

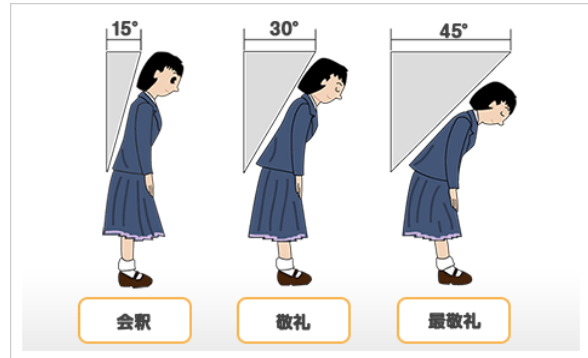


応募者の様子：しわ、汚れのない制服、きちんとした挨拶、整った髪、相手の目を見る等の態度 等

面接官が感じること：清潔、真面目、几帳面、誠実、信頼性、明るさ、集中力、熱意等が感じられる 等



5 礼法



「挨拶が先、お辞儀が後」(語先後礼)というように挨拶とお辞儀を分けて行う(分断礼)と、メリハリのある印象を与えることができます。自分の姿勢やお辞儀の角度を、鏡を見ながら練習したり、スマホなどで、自分の面接練習を動画撮影して確認するのもよいでしょう。

6 深掘り質問について

深掘り質問とは、面接試験において、応募者が回答した内容に対して面接官が「なぜ、そのようにしたのか」「そのときどう思ったのか」等、会話を深く掘り下げるような質問のしかたをいいます。深掘り質問を行う理由は、2つあります。

(1) 応募者をより深く知るため

面接官は、応募者が話す内容から、その人がどんな人物で、どんな能力があるのかを判断しなければなりません。これは、面接官が企業の希望に沿った人物を採用しなければならない、という責任ある任務を負っているからです。

(2) 応募者が話す内容が本当かどうか確認するため

応募者が自分を良く見せようとして、大袈裟に話していないか、本当に自分の経験を話しているかを確認めます。

深掘り質問は、なぜ(Why)や、なに(What)等で訊かれることが多いため、面接練習を行う時、自分の回答で深掘りして質問されそうなところがないか確認し、もしも質問された場合、どう答えるか考えておきましょう。